

エネルギー課題に提言

高校生が発表会事前講座

静岡 岡

環境問題などの課題解決策を発表する「高校生が競うエネルギーピッチ！」(電気新聞主催、静岡新聞社・静岡放送共催)が11月に静岡市で開催されるのを前に、同市駿河区の常葉大静岡草薙キャンパスで30日、出場する高校生らを対象にした事前の合同講座が開かれた。県内5校の高校生約30人が参加した。「SDGsから見た次世代バイオ燃料と今後の可能性」をテーマに、バイオベンチャー企業ユーグレナ(東京都)の尾立維博エネルギーカンパニー長と、鈴与商事(静岡市)の大野裕之取締役が講義を行った。バイオ燃料の活用方法や原料としてミドリムシを活用できることなどを解説した。

高、駿河総合高、科学技術高、静岡聖光学院高、浜松開誠館高の5高校が参加する。3回目の今回は「SDGsという課題に取り組む。」と



高、駿河総合高、科学技術高、静岡聖光学院高、浜松開誠館高の5高校が参加する。3回目の今回は「SDGsという課題に取り組む。」と